

子どもの日本語教育研究会 第11回大会
2026年2月28日（土）オンライン 実践発表

在籍学級で自己実現できるための 国際室での特別の教育課程実施の工夫

—兼務する公立小中学校での2年間の実践事例—

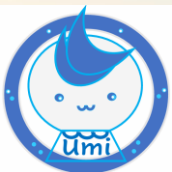
静岡県沼津市立今沢小学校と今沢中学校
Umi（国際室）主任教諭 生田佳澄

Umi（国際室）：Umiに込めた願い

子どもの可能性は
海（Umi）のように
広くて深い

可能性を共に探る場

合言葉：みんなのUmi



現状

- 多文化で多言語な子ども（=CLD児）が市内でも多く住む地域 各学年に在籍
(小中で約50人)

中学校区では19カ国の児童生徒が学ぶ

2024年度からUmi（国際室）再設
(17年ぶり 17年前 国際室担当)

- UDを取り入れた授業研修を4年間継続実施

※CLD(Culturally Linguistically Diverse Children: 以下 CLD児)



本日の発表の流れ

1

実践の目標

2

実践事例

3

結果と考察



1

実践の目標

背景となる考え

JSLカリキュラムの方法論の背景

- 「子どもたちが、教室で学んだことを、社会的な文脈の中で自己実現するための力として育む」

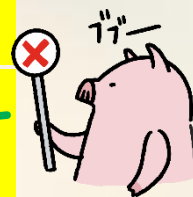
齋藤(2009)

子どもにとってのウェルビーイングは、在籍学級で自己実現できること！？



特別の教育課程 取り出し教室での学びを孤立させないことが大事なのでは？

孤立した学び
孤立した場所

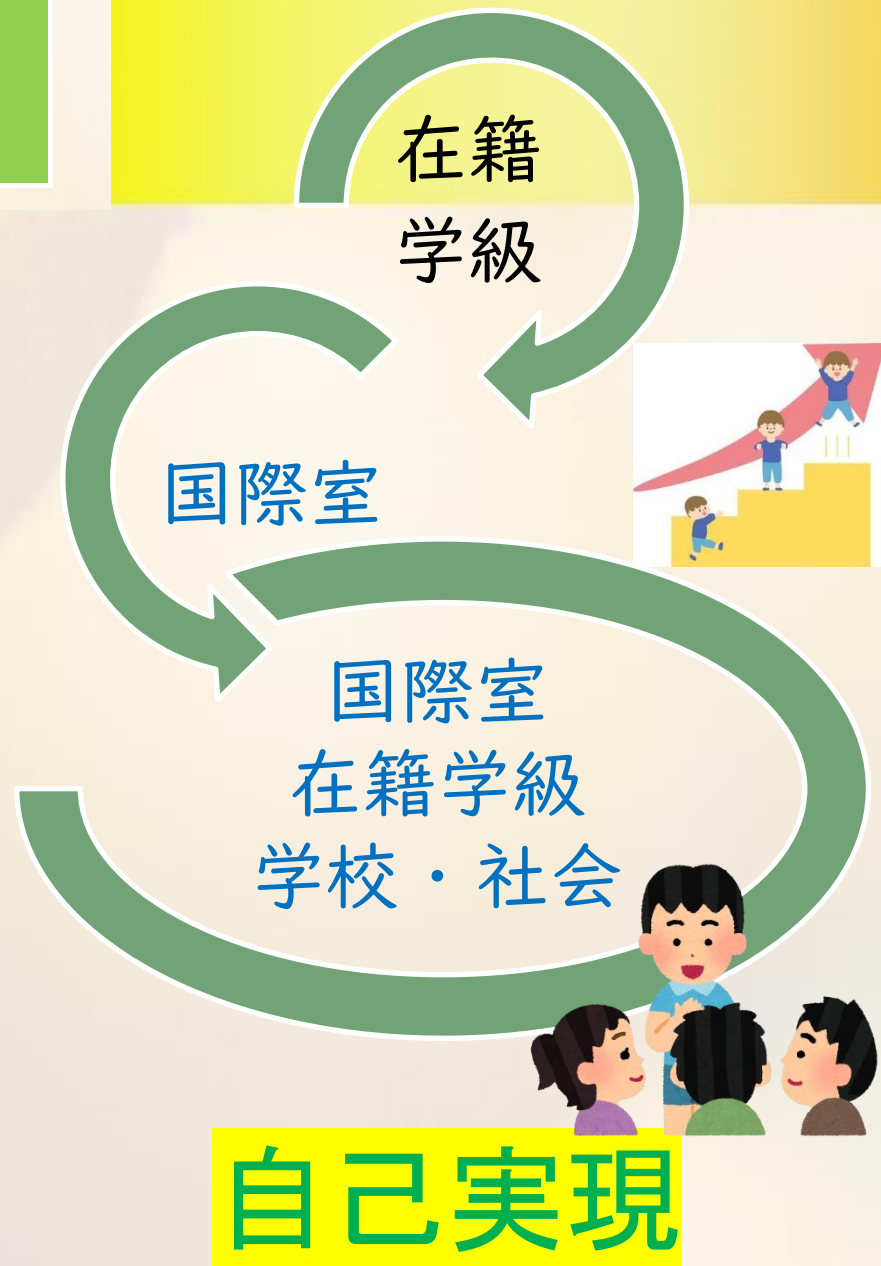


1

実践の目標

- 国際室を学校全体に開かれた学びの場として再設計し、特別の教育課程を通してCLD児^{注1}が在籍学級で

自己実現^{注1}していく過程を示す。



注1 CLD (Culturally Linguistically Diverse Children: 以下 CLD児)

2

実践事例

実践を支える 組織体制

■ 管理職のリーダーシップに基づく 組織的なバックアップ

- ① グランドデザイン・学校経営書・HP等
- ② 兼務による不在時でも機能する連携体制
- ③ 企業助成による研修・学習リソース拡充

■ 小中一貫した指導体制の構築



2

実践事例

実践を支える組織体制事例

① グランドデザインにおける位置づけ例

小学校



中学校



令和7年度 グランドデザイン
沼津市立今沢小・中学校

<p><児童・生徒の姿></p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業・行事等に精一杯取り組む。 ○優しく、素直。 △積極的学習姿勢。 △粘り強さ。 	<p><今沢地域・保護者の願い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力の定着。 ・目標に向かい粘り強くやり続ける。 ・相手思いやり。 ・地域に誇りを持ち活躍する。 	<p><行政の期待></p> <ul style="list-style-type: none"> <国>まきの方の育成 <県>有為の人づくり <市>誇り高い沼津を創造する貴き志を持つ人づくり
--	---	---

Plan

【小中一貫教育目標】
あきらめず やり抜く 今沢の子

【小学校 学校教育目標】 自ら学ぶ 心豊かで たくましく 今沢の子	【中学校 学校教育目標】 自ら学び 心豊かに たくましく
--------------------------------------	---------------------------------

【今沢小学校経営目標】 誰もが安心して学ぶ 笑顔あふれる学校

Do

<p>自ら学ぶ(知) ※1-1-1、1-2-4</p> <ul style="list-style-type: none"> ○わかる授業づくり 基礎・基本、計画的、ICT活用 ○特別的教育課程 Umi ○家庭学習の習慣化 計画的課題、調査、AIドリル ○読書活動の推進 時間の有効活用、委員会活動、読み聞かせの時間 	<p>心豊かに(情) ※1-2-1、1-2-3、2-2-3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己有用感の育成 認め合う集団、達成感ある集団 ○国際理解教育 Umi 教育相談、多様性の理解、多文化共生 ○心の教育 特別活動、道徳教育、体験活動 ○キャリア教育 体験活動、キャリア・パスポート 	<p>たくましく(体) ※1-2-2、1-3-1・2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の定着 あいさつ、身なり、時間 ○体力・健康 体力、健康、食育 ○防災・防犯の推進 避難訓練、交通安全指導
--	--	---

Check

<p>☆授業がわかる ⑦ 90%</p> <p>☆家庭学習の習慣 ⑧ 90%</p> <p>☆読書への取り組み ⑨ 80%</p>	<p>☆学校が楽しい ⑪ 90%</p> <p>☆寄り添う指導 ⑫ 90%</p> <p>☆心が育つ機会 ⑬ 90%</p> <p>☆夢や目標を持っている ⑭ 85%</p>	<p>☆基本的な生活習慣の定着 ⑯ 90%</p> <p>☆健康管理・体力づくり ⑰ 90%</p> <p>☆防災・防犯の意識 ⑱ 100%</p>
---	---	--

Action

- 開かれた学校 (コミュニティ・スクール、地域行事への参加・協力、情報発信)
- 特色ある学校づくり (Umi 国際室、ペア活動、体験学習、宿泊行事、特別支援学校との交流)
- キャリア教育 (体験学習、キャリア・パスポート等)
- 道徳教育の重点目標 (A・強い意志、B・思いやり、C・公正・公平、D・生命の尊さ)
- 信頼される教職員集団 (安全・安心な学校、地域・保護者との連携、良識ある社会人)
- 職員研修 (校内研修、**小中一貫**)

令和7年度 グランドデザイン
沼津市立今沢小・中学校

<p><児童・生徒の姿></p> <ul style="list-style-type: none"> ○優しく、素直。 ○まじめに取り組む姿勢 ○読書好き、粘り強さ ○自己有用感 	<p><今沢地域・保護者の願い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力の定着 ・目標に向かい粘り強くやり続ける ・相手思いやり ・地域の一員として活躍する 	<p><行政の期待></p> <ul style="list-style-type: none"> <国>まきの方の育成 <県>有為の人づくり <市>誇り高い沼津を創造する貴き志を持つ人づくり
--	---	---

Plan

【小中一貫教育目標】
あきらめず やり抜く 今沢の子

【小学校 学校教育目標】 自ら学ぶ 心豊かで たくましく 今沢の子	【中学校 学校教育目標】 自ら学び 心豊かに たくましく
--------------------------------------	---------------------------------

【今沢中学校学校経営目標】 伸びる

Do

<p>自ら学ぶ(知) ※1-1-1、1-2-4</p> <ul style="list-style-type: none"> ○わかる授業づくり 基礎・基本、計画的、ICT活用 ○家庭学習の習慣化 計画的課題、調査、AIドリル ○読書活動の推進 時間の有効活用、委員会活動 ○特別的教育課程 Umi 	<p>心豊かに(情) ※1-2-1、1-2-3、2-2-3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己有用感の育成 認め合う集団、達成感ある集団 ○国際理解教育 Umi 教育相談、多様性の理解、多文化共生 ○心の教育 特別活動、道徳教育、体験活動 	<p>たくましく(体) ※1-2-2、1-3-1・2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の定着 あいさつ、身なり、時間 ○体力・健康 体力、健康、食育 ○防災・防犯の推進 避難訓練、交通安全指導
---	---	---

Check

<p>☆授業がわかる ⑦90%</p> <p>☆家庭学習の習慣 ⑧90%</p> <p>☆読書への取り組み ⑨70%</p>	<p>☆学校が楽しい ⑪90%</p> <p>☆寄り添う指導 ⑫90%</p> <p>☆心が育つ機会 ⑬90%</p>	<p>☆基本的な生活習慣の定着 ⑯90%</p> <p>☆健康管理・体力づくり ⑰90%</p> <p>☆夢や目標を持っている ⑱80%</p>
--	---	--

Action

- 開かれた学校 (コミュニティ・スクール、地域行事への参加、情報発信)
- 特色ある学校づくり (Umi 国際室、あしはも祭、生涯学習、学年・学校行事、体験学習)
- キャリア教育 (総合的な学習：職場体験、道徳講話、防災・交流、体験学習)
- 道徳教育の重点目標 (A・強い意志 B・思いやり C・公正・公平 D・生きる喜び)
- 信頼される教職員集団 (安全・安心な学校、地域・保護者との連携、良識ある社会人)
- 職員研修 (**小中一貫**、校内研修)

2

実践事例

実践を支える 組織体制事例

- ② 企業助成による研修・学習リソース拡充例
 - * 第51回 Panasonic教育財団 実践研究助成校
 - 専門家招聘 合同Umi授業・校内研修（市内等）
 - * 京都大学 益田玲爾教授 対面授業・研修
 - 日本語教育専門家招聘・校内研修（市内等）
 - * 大阪大学 櫻井千穂准教授 オンライン研修
 - 最新式大型モニター1台購入・全学年で活用
 - JICAオンライン出前授業 合同Umi
 - 映像教育ワークショップ KWN日本
- 【参考URL】 ・ フォトレポート [①](#) ・ [②](#) ・ [KWN](#)



2

実践事例

実践を支える 組織体制事例

③ 不在時でも機能する連携体制例

- 時間割表 (小中教務主任 発)
- 小中Umi年間勤務日一覧 (小中教務主任 発)
- 中学校取り出し生徒計画 (中学校教頭 発)
- 週予定・月行事予定・職員室内予定表・職員会議資料

デジタルで共有



兼務等で不在であっても組織的な対応可

時間割表

令和7年度 沼津市立今沢小学校 時間割表版

年	組	担任	月					火							
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	
育成	1	[Redacted]	国・国	体・理	図	算	書・体	自・社	算・音	国	英・体	算			自
	2		社・算	体育館	算・家	理・国	図	総	体	国・社	算・理	英	社・算	理・国	体・算
	3		算学		国	国	図		自	算	国		社	家	算
	4		日生												
	5			算	国	生	単	日	生	算		生	単	生	単
	6														
Umi 国際室		生田	今中	今中	今中	今中	今中	32-52 6時	42-51-82	31-42	1時 5時 21	3年 21	Umi		
1	1	[Redacted]	国	算	英	読	国	学	算	館	音	国			
	2		国	算	読	英	国	学	算	音	館	国			
2	1	[Redacted]	生	算	国	体	音	国	音	道	算	英	読	算	
	2		算	国	体	音	国	道	算	英	読	算	国		
3	1	[Redacted]	国	理	算	英	体	英	算	社	算	算	館	国	
	2		国	算	理	理	英	算	体	国	算	理	国	音	
4	1	[Redacted]	国	音	社	算	館	算	国	体	算	書	理		
	2		社	理	館	国	算	道	英	算	音	国	図	図	
5	1	[Redacted]	算	英	書	総	社	道	算	英	算	社	国	音	
	2		英	体	図	図	算	社	算	理	図	図	読	総	
6	1	[Redacted]	国	算	理	理	家	書	算	国	理	体	読	英	
	2		算	道	家	音	家	書	算						

時間割表・教室配置

学び方サポーター	表	月									
		1	2	3	4	5	1	2			
特別教室											
Umi 国際室											
運動場		52	22	21	31		Umi	42			
体育館		育	育成	42		41				11	
英語ルーム		52	51	1年	31	32	51	5			
家庭科室				62	62						
音楽室			41	62	22	21	31				
図工室				52	52						
理科室			42	61	61						

- ・兼務でUmiのない日は、小中学校とも学校中で使用可能な教室として開放
- ・教室配置の工夫: 孤立しない位置 (在籍学級のならば)

小中Umi年間勤務日一覧

4月			5月			6月			7月			8月		
1	月		1	水		1	土		1	月		1	木	
2	火		2	木		2	日		2	火		2	金	
3	水		3	金		3	月		3	水		3	土	
4	木		4	土		4	火		4	木		4	日	
5	金	入学式	5	日		5	水		5	金		5	月	
6	土		6	月		6	木		6	土		6	火	
7	日		7	火		7	金		7	日		7	水	
8	月		8	水		8	土		8	月		8	木	
9	火		9	木		9	日		9	火		9	金	
10	水		10	金		10	月		10	水		10	土	
11	木		11	土		11	火		11	木		11	日	

小中教務主任が協働し作成：管理職・全職員・Umi参加児童生徒と情報共有
日本語ボランティアの来校日・給食の会食の教室調整時にも活用

2

実践事例

中学校

取り出し生徒計画

1月1日			
学級	生徒氏名	教科名	授業内容(ポイントを簡潔に)
1	3A " [3B英語:合格チェックテスト2ページの答え合わせ]	社会 " " さん	株式学習ゲーム " "
2	2A SIHAKSA ANOU(シハックサー アーヌ)さん のみ(本人からの希望) 【3A英語】		サバイバル日本語
3	2B " " さん 3B " " さん 【3A美術:「転写」から「彫り」】	国語 " " 理科 " "	漢詩 どの漢詩を学習するのかページ数を考 " " 「月の見え方」まとめ " "
4	2B 3A " " さん 【3B美術:「転写」から「彫り」】	社会 理科 " "	縄文～平安時代の日本と中国※本人がワー ています。 「月の見え方」つづき
5	3A " " さん	数学 " "	2点間の距離を求めよう。 " "

2/25 2/24 2/20 2/16 2/13 2/9 2/6 2/2 1/30 1/26 1/23 1/19 < >

【Umi在籍生徒の先生方へ】

☆校務共有V> Umi(国際室)の中に、Umi(国際室)での指導記録が保存されています。確認願います。

☆教科担任は、取り出しをするときの教科でプリント等を配布する場合は、当日朝までに職員室Umi 机上のかごに置いてください。
教科につながる指導も実施しています。

2・27(金)午前中 小中交流授業があります。

2

実践事例

小中Umi合同研修会

抽出児一人の学びを中心に
支援方法を語り合う



小中Umi合同研修会の実施：隣接する中学にて 6/26実施

道徳

English

理科

栄養
教諭

算数・
数学

保体

中学校
教員

小学校
教員

特別支援
国語
社会
音楽の班も
それぞれ
ある



2

実践事例

アクションリサーチ 【A教師の変化】

【小中Umi合同研修会】

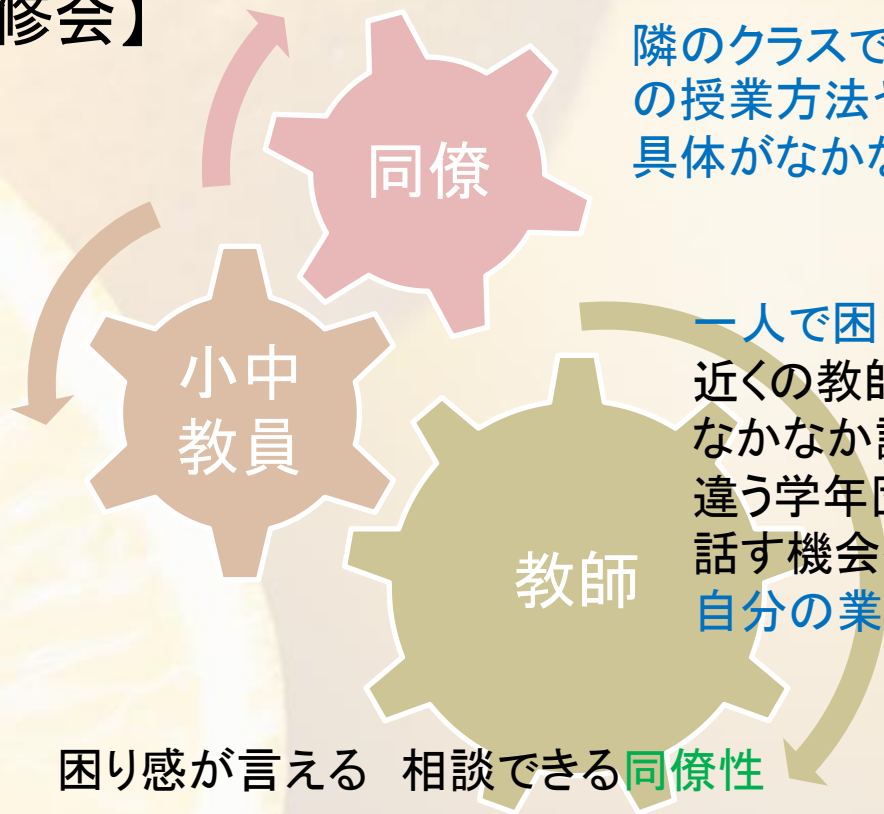
中学校の教師からの
見方・指導法共有・支
援の具体をフラットに
語り合えた

中学の先生に対する
イメージが変わった

会えば笑顔であいさ
つが交わせる間柄に
なった

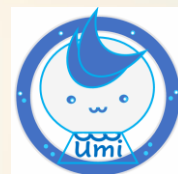
「やさしい日本語」と
いう意味が分かった

支援方法が増えた/合同Umiの授業・入り込み授業
学年・交換授業を通じた授業改善/



隣のクラスであっても隣のクラスの
授業方法や指導や支援の
具体がなかなか見えてこない

一人で困り感を抱え込む
近くの教師に圧倒されていた
なかなか話しかけづらい
違う学年団の同僚と職員室で
話す機会を見つける前に
自分の業務に追われる日々



2

実践事例

Panaコーナー

教職員にとっての他者参照



職員室内 休憩コーナー掲示板をPanasonic教育財団助成研修コーナー 日常の授業でのデジタル学習基盤を活用した支援実践事例



校長撮影
HP掲載画像



他の先生は
どのように
実践している
のかな？

2025/05

2

実践事例

管理職のサポート

教職員向け オンライン出前講座

●大阪大学 櫻井千穂准教授による教職員対象オンライン
校内研修：「特別の教育課程」の教育方法理論）7/9実施

S.E
派遣

校長が
市教委
と連携
し派遣
可能に
なった



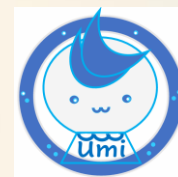
◆教頭:市内小中校に
事前通知

【会場参加者】

- ・本校職員その他
- ・隣接中学校教頭
- ・県日本語アドバイザー
- ・中学校区小学校
国際室担当
- ・アメリカの大学の教員

【オンライン参加者】

- ・隣接中学校教員



2

実践事例

児童・生徒に対する 実践

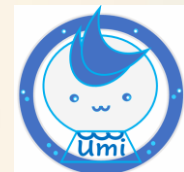
- ① **DLA**による実態把握をした。日本語の力・母語の力・家庭生活や学校生活における対象 CLD 児の強みを知る機会として活用した。トランスランゲージング・クラスルームを学級や学校全体に広げた。緩やかではあるが確実に**多文化共生の基盤形成**につながっている。
- ② 在籍学級・委員会・クラブ・部活動等における**短時間「入り込み」**による**CLD 児の実態把握**をした。活動内容の目的を把握した上で対象 CLD 児が何に夢中になり、誰とどんなにかかわりをしているのかを知り、どんな支援を要するのかを検討する根拠に据えた。
- ③ **Umi (国際室) の学習環境整備**をした。言葉との出会いを生む体験・視覚支援・リアルな学びの充実を図り全ての子どもの学びの場とした。国際室の**教育ブランディング効果**を生んだ。
- ④ **明確なゴール指標の設定**をした。担任や担当と話し、在籍学級の授業のどの場面で CLD 児が自己実現を図る発表をするのか、カリキュラムマネジメントし単元を共に構想し実現に立ち会った。時空間を流動的に捉えた他者参照、「**入り込み**」の**先の合同授業の実施**は、より大勢の前での自己実現の機会を増やした。対象児は、果敢に挑戦し**自信や意欲を創出した**。

2

実践事例

大型画面活用事例

3人で分担しながら⇒比較・違いや共通点



2

実践事例

大型画面活用事例

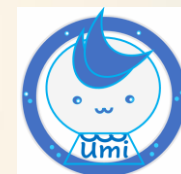
3人で学び合い



2

実践事例

在籍学級での発表



2

実践事例

在籍学級での発表



2

実践事例

合同Umi (第5回小中交流会)

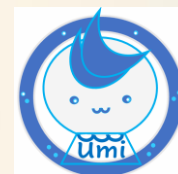
Umiが学校全体を包摂



2

実践事例

在籍学級での発表例



2

実践事例

Umiが包摂

社会に開かれた教育課程実施

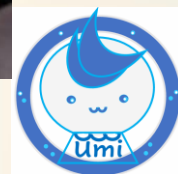
●講師招聘：京都大学 益田玲爾教授来校 9/12実施

6年：総合学習
キャリア教育

5年：総合学習
環境教育



<https://swa.numazu-szo.ed.jp/numazu022/weblog/130261958?tm=20250920123115>



2

実践事例

小6 合同Umi

居ながらにして 世界とつながる授業

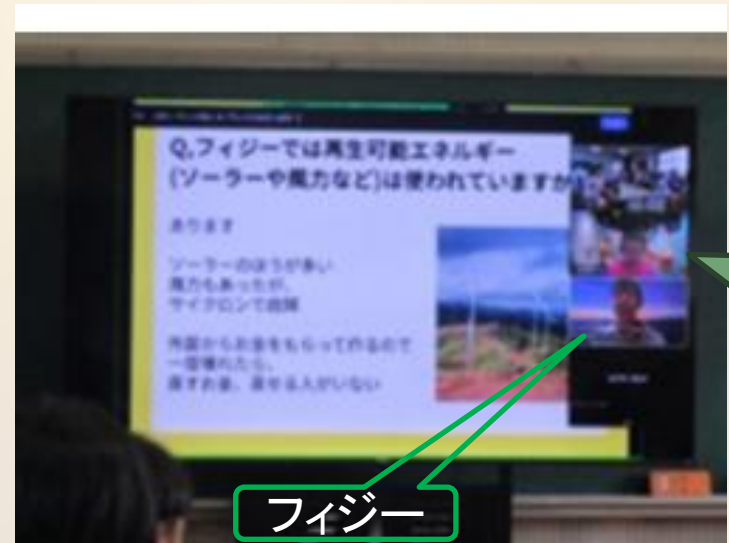
●JICAオンライン出前講座

JICA地球広場 ⇔ フィジー

↑↓

↑↓

合同Umi会場にて **Umi参加者** + 小6 全員
母国での視点を生かした



東京

フィジー

<https://www.jica.go.jp/cooperation/see/delivery/report/primary/39.html>



2

実践事例

合同Umi 小5 社会科

Panasonic KWN日本 榎木講師によるワークショップ

11/28実施



<https://swa.numazu-szo.ed.jp/numazu022/weblog/133623789?tm=20251128143258>



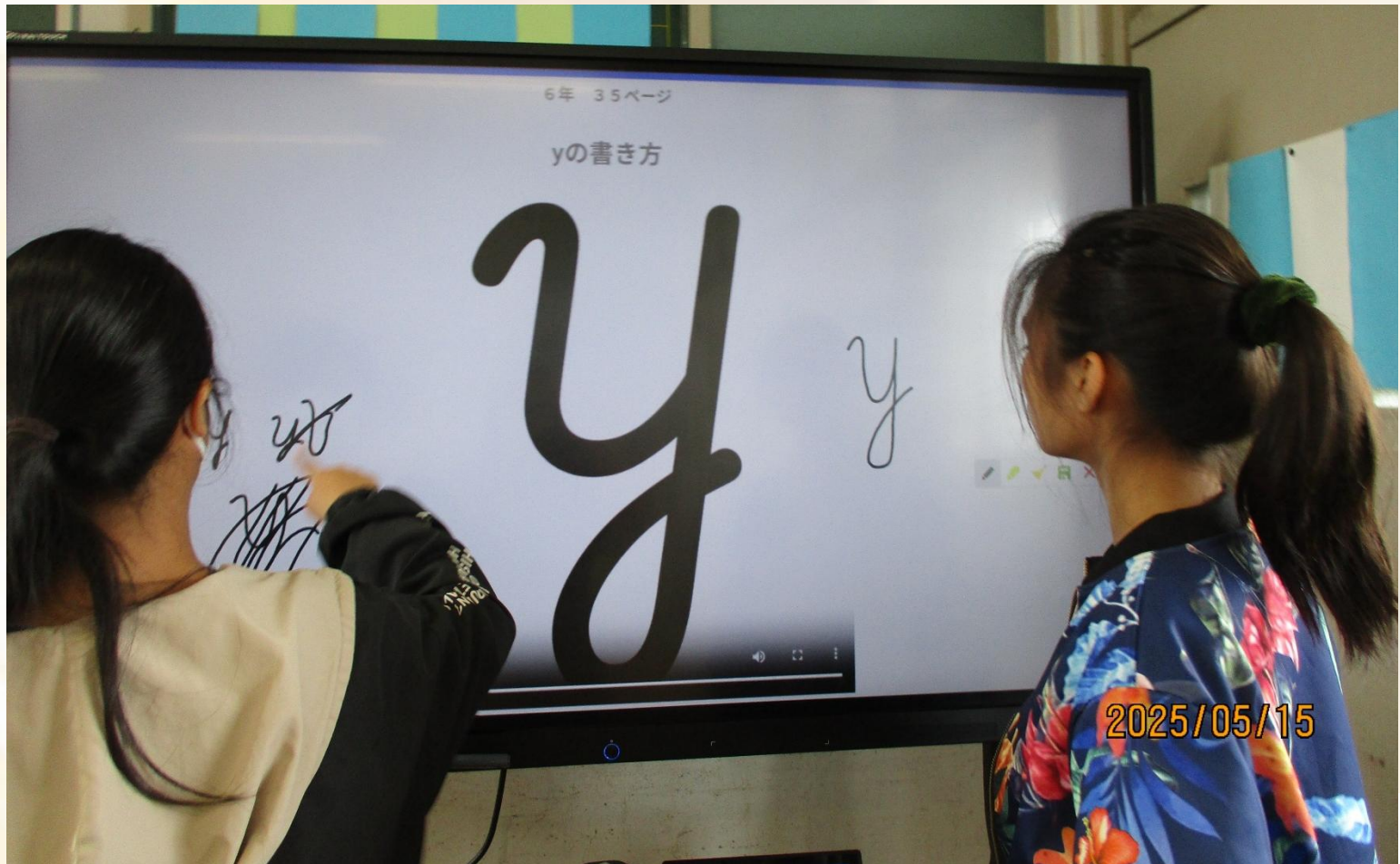
2

実践事例

先行学習例

大型画面活用

TRY and Error



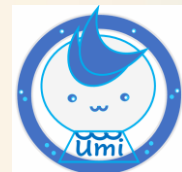
2

実践事例

取り出し授業 ⇔ 在籍授業

取り出し授業で「？」を明らかにし、調べて解決
分かったことを教室での学びに生かす

問いを立て調べ まとめ⇒各クラスで発表





2026/02/04 14:55

教室環境：
季節による変化も確かめることのできる生きた環境等
⇒「Umiに行こう！」と誘い合う声⇒教育ブランディング効果

2

実践事例

プレゼン資料・発表の体験 を積み在籍での発表へ

大きくて
明るい
画面を
活用した
プレゼン



■ https://www.pef.or.jp/school/grant/school_photo/20250724_04/

2

実践事例

社会へ発信



地域の環境に対する意識 ごみひろい体験 川にすむ鳥の観察
SDGsに対する関心 多言語ポスター作り 掲示 映像番組制作
校内放送 地区センターや土木事務所との連携

2026/02/19

2

実践事例

社会へ発信



自己実現の幅の広がり

自分の強みを主体的に生かし自信と誇りを生んだ



創作活動例: Umiの看板
番組制作にも生かしている

3

結果と考察

結果



- 日本語支援を要するCLD児も分かる在籍の授業は、CLD児以外で授業理解に困り感をもつ児童にとっても有効
- CLD児の自己実現のためには、学校組織体制が基盤となった。
- 在籍学級の教科担当とカリ・マネをし、単元を構想することで取り出し授業における学びを在籍で発揮できる。

3

結果と考察

在籍学級の
子どもたちの声

- 「Umi (国際室) ができる前は、孤立しがちな外国籍の同級生が、UmiができてからUmiの友達と打ち解け合うようになってきたと思います。孤立していた時は、自分もどう声をかけたらいいのか 迷うばかりで行動できなかったのです。去年の2学期頃から〇〇さんたちがUmiで勉強したことをクラスで楽しそうに伝えるようになってきた姿を見て、(自分はどうなんだろう。)と、自分を見つめるきっかけになりました。
- 『Umiは、みんなのUmi』というキャッチフレーズのもと、自分たちも合同Umiの授業を楽しんだり、休み時間にUmiで過ごしたりすることを通して多様性に対する考えが深まってきただけでなく、(Umi NEWS参加のように) 一歩踏み出す行動力が自分についてきたと思います。世界平和についても考えて「みらいポスト (KWN2025)」と一緒に発信することができたことも自分の誇りです。」



3

結果と考察

教員の声

- 異動前の学校では、国際室がなかったので支援方法を相談できず困っていた。授業で外国ルーツの子どもを活躍させてあげられていなかった。今年は、子どもが活躍できる場をイメージしながら授業計画するようになった。授業では Umi で学んだ子どもが Umi でまとめたものを自主的にプレゼンする場面もあった。クラスの他の子どもたちにとっても新たな学びの視点を得られた。自分の授業自体が変わってきた。
- 組織的な支援体制の構築により CLD 児が安心して在籍学級で自己実現できる機会が増えた。CLD 児と共に学ぶ子どもの意識変容や授業者である在籍学級担任の授業改善にもつながった。





引用文献



- 齋藤ひろみ(2009)「文化間移動をする子どもたちへの教育の方法」齋藤ひろみ・佐藤郡衛編『文化間移動をする子どもたちの学びー教育コミュニティの創造に向けてー』ひつじ書房.
- 小学生・中学生・高校生の子どもたちを対象とした映像制作支援プログラムキッド・ウィットネス・ニュース(KWN)日本(2025) Umi IMAZAWA小編「みらいポスト」Panasonic Group
https://holdings.panasonic.jp/corporate/sustainability/citizenship/kwn/jp_contest2025.html